

こんな活動です

学校と家庭と地域が協働し、地域の子供とともに再発見！ ～人と人がつむぐきずなの実感～

沖縄県うるま市	●活動名	●関係する学校名
	南原小学校地域学校協働本部	うるま市立南原小学校

協働活動開始年度	平成 24 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成24年5月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	放課後子供教室		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	2人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	2人	
ボランティアの数	延べ登録人数	1088人	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有
参考URL	http://minamihara-sho.edu.city.uruma.okinawa.jp/					



●連絡先	うるま市教育委員会 生涯学習スポーツ振興課	☎ 098-989-3110
------	-----------------------	----------------

●活動の概要・経緯
学校のPTAや子供会、自治会の方々が「自分たちの住んでいる学校の助けになりたい」という気持ちから地域学校協働活動を開始。小学校の放課後子供教室から始まった当活動も、登下校の見守り、放課後学習支援、授業の補助と、年々活動の幅を広げている。また、本校の敷地内にある放課後学童クラブの連携事業や、地域コーディネーターと学校職員で協働し、学校の授業の中での活動も取り入れている。参加協力団体も、公民館や行政だけではなく、民間企業と連携することで、学校内だけの活動にとどまらず、世界遺産を活用してのイベントや地域のボランティア活動などの取り組みも行ってきた。
平成30年度からは地元企業と連携した地域振興活動も開始したほか、平成31年度からは学校運営協議会(コミュニティースクール)が設置され、地域コーディネーターや民生員、地域の区長をはじめ地域の社会教育団体も運営委員に委嘱されている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

「地域の子供たちは地域の大人たちで育てよう」を合言葉に学校運営協議会のメンバーに区長や区の社会教育関係団体の長が入っていることで学校の課題や要望にすぐ対応できる。特に子供教室では、学校内だけの活動ではなく、積極的に地域人材を発掘したり、教育委員会や民間企業のイベントに参加をし、安心安全な子どもの活動拠点を設け、学習やスポーツ・文化活動、地域振興の交流等の機会を年間170回提供した。地域の方々のボランティアの熱意も高く、多くの子供たちが学校の内外で活動を支えてもらい、その保護者も積極的に関わっていく変容も見られた。

土曜日や長期休暇を活用して地域文化の継承を目的とした方言大会への参加や和太鼓の活動も開催している。

【実施に当たっての工夫】

実施にあたっては地域コーディネーターが学校と常に連絡調整し、地域の人材をコーディネートしながらプログラムを作成している。その際、学校の授業内容やねらいなども意識することで学校と地域の取組がつながるようにしている。また、学校内に地域連携室という場所を確保し、地域の方がいつでも気軽に活用できるよう工夫をしている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会において活動の報告や検証などを行い、学校と地域の双方の意見を聞きながら毎年より良いものに行き届くよう取り組んでいる。また、放課後学童クラブの代表や居場所づくりの事業所も運営委員となっていることから、放課後の活動についても連携・協働しながら検討し、実践をサポートしている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域学校協働活動に参加して下さる方々は退職後の楽しみとして見守り活動や放課後子供教室のボランティアを積極的に引き受けていただいております。地域住民の生きがいになっている。また、学校としても放課後の安全対策や子供たちの学力向上、豊かな成長の助けになるということで積極的に協力していただいております。特に、この取組により地元企業等と学校が繋がったことで、学校本来の授業(職業体験等)でもそのネットワークの活用ができています。

子供たちに対しては、毎年実施しているアンケートで、「地域の方に支えられている」という回答が年々増加しており、昨年度のアンケートでは8割以上の児童が「地域の人に支えられている」と回答していたため、取組の成果を実感している。

●その他

地域にある世界遺産の勝連城跡で、ラジオ体操やナイトウォークラリーなどのイベントの実施。



地域人材を活用した英語学習



地域の工房で染め物体験